

2026年度日本マスタース水泳短水路大会 滋賀（草津）会場

今回の日本マスタース短水路大会滋賀会場の参加者数は、818名となりました。多数のお申込みありがとうございました。

本大会の全競技を円滑に終了する為には、参加者の皆様のご協力が不可欠です。

つきましては、参加者一人一人の皆様に、下記の事項についての周知徹底をよろしくお願ひします。

	ページ
1. 大会会場	1
2. 会場案内図	2,3,4
3. 大会日程／競技スケジュール	5
4. 日本マスタース水泳協会競泳競技規則（抜粋）	6
5. ADカード／受付／テクニカルミーティング	7
6. 競技方法	7
7. ウォーミングアップ／公式スタート練習	7
8. 招集	7
9. スタート／プールからの退水方法	8
10. リレー種目	8
11. 表彰／記録	9
12. 申告が必要な方	10
13. 施設使用上の注意	11
14. 健康管理	13
15. その他	13

インフロニア草津アクアティクスセンターへの来場方法

<草津駅から徒歩の場合>

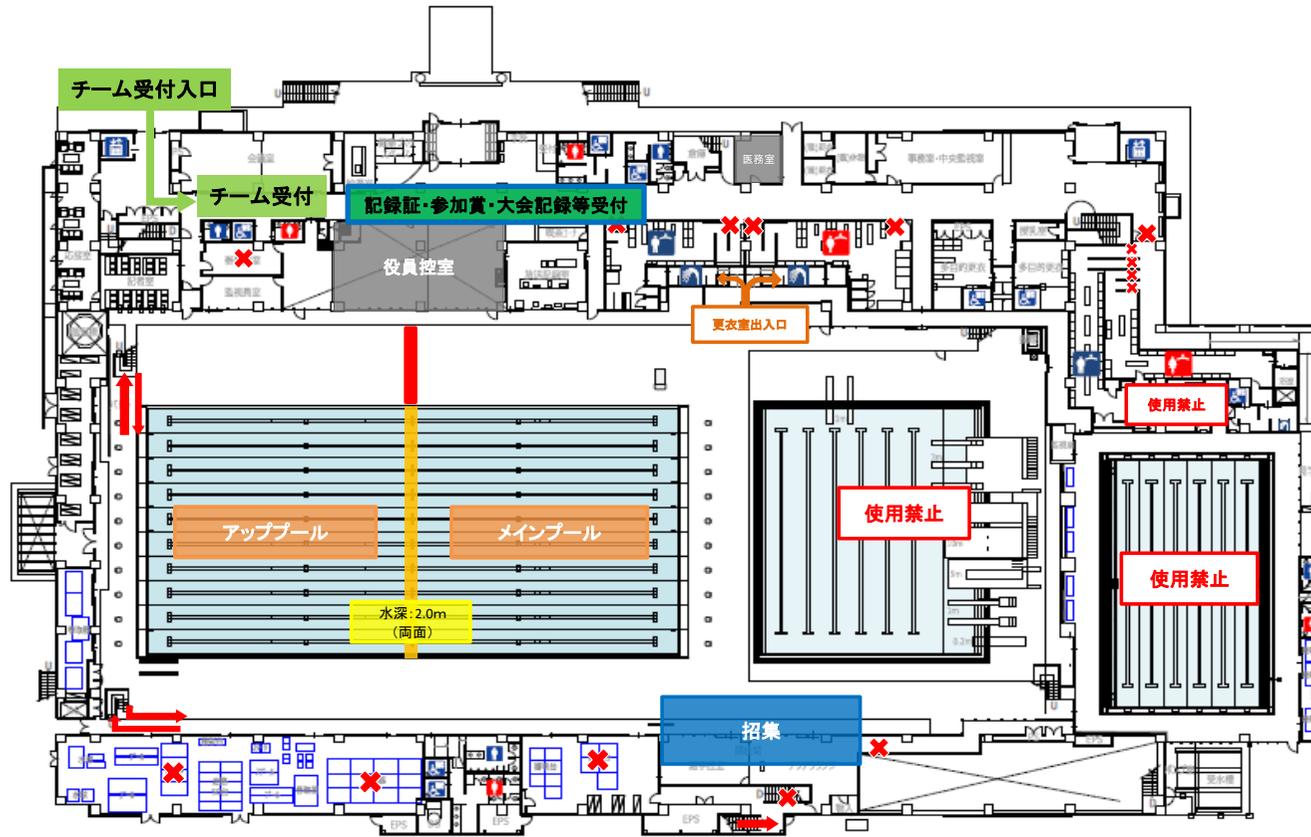
- ・草津駅から徒歩で来られる場合は、草津駅西口からびわ湖通りをまっすぐ西へ、エストピアホテルを左手、A スクエアを右手に見ながら進み、京都信用金庫の交差点(右手斜め前にセブンイレブン)を左折。草津警察署の隣です。
- ・草津駅からは必ずこのルートで来場してください。横道や南側の道路を利用されると近隣の方に騒音等でご迷惑をお掛けしますのでおやめください。



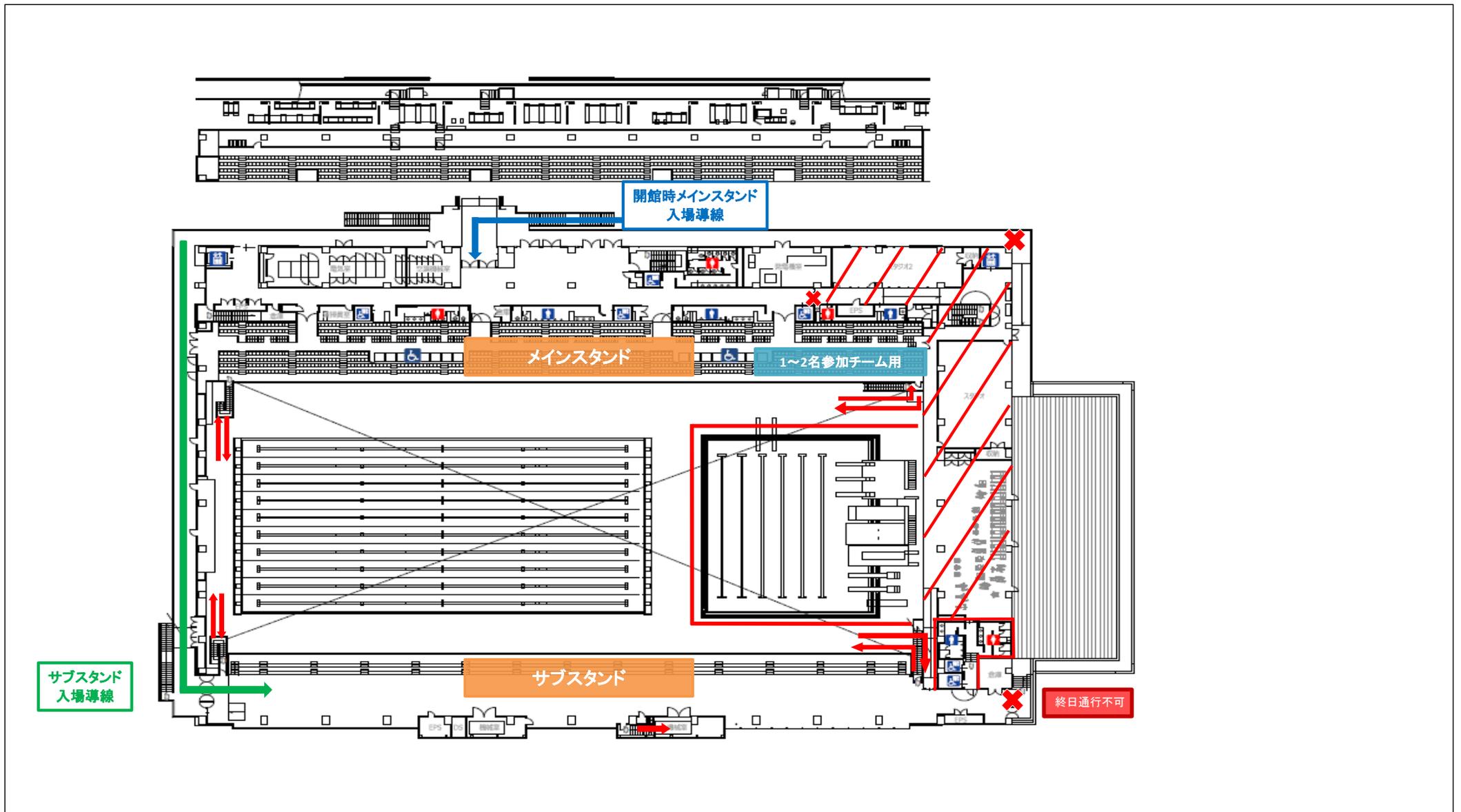
<自動車の場合(駐車場利用)>

- ・お車でお越しの方は、インフロニア草津東側の有料駐車場をご利用ください。
- ・西側の入口(草津警察署横)は使用せず、信号のある交差点から東側へ回り駐車場へ入ってください。
- ・お帰りの際も入場と同様に草津川側のルートでお帰りください。(北側住宅方面へのルートは使用しない。)
- ・満車の場合は近隣の有料駐車場をご利用ください。
- ・入庫待ちの路上駐車はしないでください。
- ・近隣の YMIT アリーナ駐車場や空き地等への駐車も絶対にしないでください。

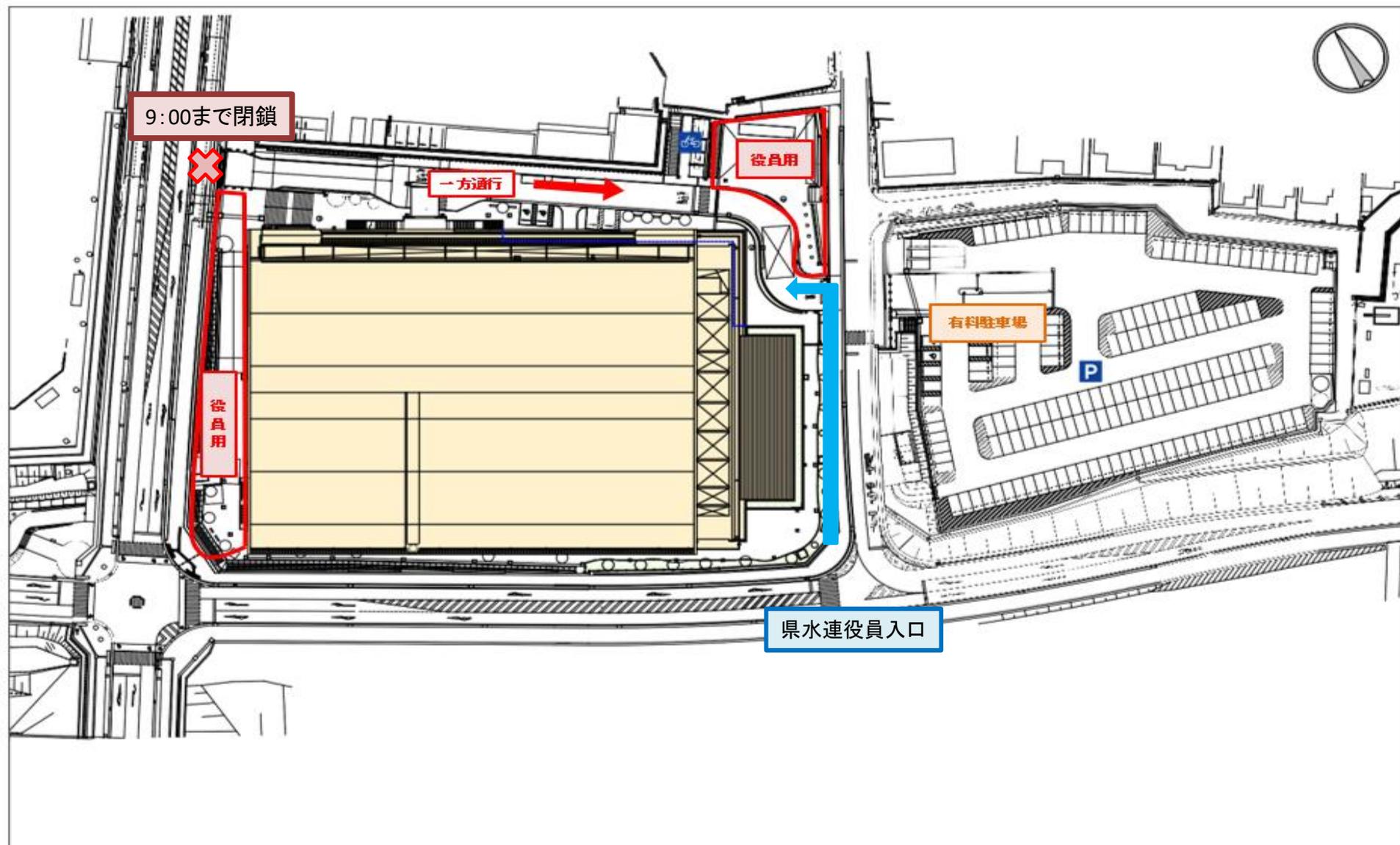
メインプール



2階会場図



駐車場



3. 大会日程／競技スケジュール

ADカードお渡し	7:20
開場 ・ADカードあり	8:10
・ADカードなし	8:30
ウォーミングアップ	8:30～9:30
公式スタート練習	9:00～9:30
競技開始	10:00
競技終了予定	16:36

<競技順序>

NO	種目	予定時間	NO	種目	予定時間
1	混合 4×50mメドレー	10:00	18	女子 25m背泳ぎ	13:50
2	女子 200m個人メドレー	10:08	19	男子 25m背泳ぎ	13:58
3	男子 200m個人メドレー	10:17	20	女子 25mバタフライ	14:03
4	女子 50m自由形	10:35	21	男子 25mバタフライ	14:10
5	男子 50m自由形	10:51	22	混合 4×50mフリー	14:14
6	女子 50m平泳ぎ	11:11	23	女子 100m個人メドレー	14:25
7	男子 50m平泳ぎ	11:22	24	男子 100m個人メドレー	14:39
8	女子 50m背泳ぎ	11:36	25	女子 100m自由形	14:57
9	男子 50m背泳ぎ	11:49	26	男子 100m自由形	15:10
10	女子 50mバタフライ	12:00	27	女子 100m平泳ぎ	15:29
11	男子 50mバタフライ	12:05	28	男子 100m平泳ぎ	15:37
12	女子 4×50mメドレー	12:16	29	女子 100m背泳ぎ	15:51
13	男子 4×50mメドレー	12:25	30	男子 100m背泳ぎ	15:57
14	女子 25m自由形	12:33	31	女子 100mバタフライ	16:06
15	男子 25m自由形	12:42	32	男子 100mバタフライ	16:11
16	女子 25m平泳ぎ	12:52	33	女子 4×50mフリー	16:18
17	男子 25m平泳ぎ	12:56	34	男子 4×50mフリー	16:26
表彰・休憩			表彰		

競技終了

16:36

主催者・主管からの連絡事項

4. (一社) 日本マスターズ水泳協会競泳競技規則 (抜粋) (カッコ内：競技規則条項)

- (1) 出発について (背泳ぎを除く)
 - a. 自由形・平泳ぎ・バタフライおよび個人メドレーのスタートは、スタート台・プールデッキおよび水中のいずれからでもできる。(第4条1項)
 - b. 審判長の長いホイッスルによりスタート台またはプールデッキに上がった競技者は、スタート台前またはプールデッキ前縁に少なくとも一方の足の指を掛けなくてはならない。(第4条1項)
 - c. 水中からスタートする競技者は、審判長の長いホイッスルにより速やかにプールに入り、少なくとも一方の手でスターティンググリップを持ち両足をプールの壁に付ける。(第4条1項)
 - d. 出発合図の前にスタートの動作を開始した競技者は失格となる。(第4条3項)
- (2) 自由形について
競技中は泳者の体の一部が常に水面上に出ているなければならない。折り返しの間、スタート後・折り返し後の壁から15m以内の距離では体が完全に水没してもよいが、壁から15m地点までに、頭は水面上に出ているなければならない。(第5条3項)
- (3) 背泳ぎについて
バックストロークレッジを使用する場合は、両足のつま先の少なくともそれぞれ一本はタッチ板に接していなければならない。(第6条1項)
- (4) 平泳ぎについて
 - a. 両腕の動作は、同時に行われなければならない、交互に動かしてはならない。(第7条2項)
 - b. 両脚の動作は、同時でなければならない、交互に動かしてはならない。(第7条4項)
- (5) バタフライについて
 - a. 全ての足の上下動作は同時に行われなければならない。両脚・両足は同じ高さになる必要はないが、交互に動かしてはならない。一かきに一回の平泳ぎの足の蹴りは許される。折り返しおよびゴールタッチの直前は、一かきを行わずに一回の平泳ぎの足の蹴りが許される。また、スタートおよび折り返し後の一かき目の前も、一回の平泳ぎの足の蹴りが許される。(第8条3項)
 - b. 泳者はスタートおよび折り返し後は、水面に浮き上がるため、水中での数回の蹴りと後方への一かきが許される。スタート後、折り返しの後、体は完全に水没していてもよいが、壁から15mの地点までに、頭は水面上に出ているなければならない。また、次の折り返しあるいはゴールまで体は水面上に出ているなければならない。(第8条5項)
- (6) メドレー競技について
個人メドレーでは、自由形の際に壁から足が離れたときはあおむけの状態であってもよいが、うつぶせの状態になるまでは、バタフライの蹴りも含めていかなる足の蹴りも行ってはならない。(第9条1項)
- (7) 競技終了後の退水について
泳者は、他の泳者が競技中であっても審判長に退水を指示されるまでは、自レーンの中にとどまってもよい。退水の際に、他の泳者が競技中であっても審判長の指示があった場合、他のレーンを横断することができる。ただし、指示に従わず他の泳者を妨害した場合は、失格となる。また、その他の妨害行為をした場合も失格となる。(第10条9項)
- (8) リレー競技の第1泳者の記録について
4×25mのリレー競技を除き、リレー競技の第1泳者の記録は新記録に申請することができる。(第13条5項)
- (9) 水着の規定について
競技会で着用できる水着等は、競技会開催日に本協会が公表している水着規定に準じる。(第15条1項)

5. ADカード/受付/テクニカルミーティング

<ADカード> ☆ADカードは郵送しません。

- (1) 参加選手は、大会当日、会場1階正面玄関内受付のチーム登録府県別テーブルで、ADカードを必ず受け取ってください。その際できるだけチームでまとめてお願いします。
- (2) ADカードは、2026年度日本マスターズ短水路水泳大会（滋賀）の参加選手であることを証明する大切なものです。プールへの入場時、招集受付、賞状の受け取りの際など、大会期間中必要になりますので、首から下げるなど会場で見える位置に必ず携帯してください。
- (3) ADカードを紛失および忘れた場合は1階正面入口受付にて再発行してください。再発行料として500円（税込）が必要となります。
- (4) 参加賞と大会エントリー時に申し込んだプログラムも同場所にて受取ってください。

<テクニカルミーティング>

今大会はテクニカルミーティング（監督者会議）を、開催しません。

6. 競技方法

- (1) (一社)日本マスターズ水泳協会競技規則に則り行います。
- (2) 個人種目は10レーン、リレー種目は8レーンで競技を行います。
- (3) 組み分けは、エントリーに従い男女別（混合リレーを除く）・年齢区分別に、高年齢から低年齢へタイムの遅い組から速い組への順に行います。
- (4) 組み分けされている種目で棄権者が多数出た場合、前後の組と合同で競技を行う場合があります。
- (5) 競技時間はあくまで予定であり、競技の進行状況により前後します。招集受付に遅れると棄権扱いとなりますので、競技の進行を確認し、遅れることのないよう招集席へお越しくください。

7. ウォーミングアップ/公式スタート練習

- (1) 大会中は定められた時間で、メインプール、サブプールにてウォーミングアップが可能です。
- (2) 公式スタート練習は、9時00分～9時30分の間にメインプール全レーンで行います。
※公式スタート練習は、スタート規則の確認であり、飛込み練習ではありません。
※アッププールに2レーンスタート練習レーンを設定します。

8. 招集

- (1) 招集席（第一招集は室内、第二招集はプールサイド）は、サブスタンド下となります。
- (2) 招集席付近のホワイトボードまたは放送にて、「No・性別・距離・種目」を提示します。
ご自分の出場する種目が掲示・通達されたら、ただちに招集員に組・レーン・名前の申告と、ADカードを提示し、指示に従って進んでください。
※ご自分の組・レーンは忘れないように、また、間違えないように申告してください。組・レーンを間違えて泳いだ場合は失格となります。
- (3) 招集席へは、ご自分の出場する種目、組の8レース前までにお越しくください。
競技の進行をご確認のうえ、招集遅れのないように注意してください。
※最初の種目の招集は9時40分から開始します。
- (4) 招集受付を済ませないといかなる理由であれ棄権となり出場ができません。

(5) 25m種目のADカードや荷物等は、ご自身で第二招集席出口にある机上の泳がれるレーンのスペースに置いてください。

泳がれた後、ご自身で置いた物を忘れずにお持ち帰りください。

毎年取り違いによるトラブルが多く発生しています。他の選手のADカードと間違わないように注意してください。

9. スタート/プールからの退水方法

<スタート>

- (1) スタートは、25m種目を除きオーバー・ザ・トップ方式で行います。
- (2) マスターズ水泳のスタートは、①スタート台上、②プールデッキ、③水中からのスタートが許されています。初めて競技に出場する選手や飛び込みの練習をしていない選手は、安全面から、プールデッキや水中からのスタートをお勧めします。
- (3) プールでの水浴びは禁止です。水浴びはプールサイドに「水浴び用バケツ」を用意していますので、そちらを利用してください。

<プールからの退水方法>

- (1) 他のレーンの泳者、次の組の泳者を妨害することのないよう、またタッチ板に触れることのないよう注意し、横から退水します。退水は25m種目を除きレーンロープにつかまり水中で待機して、次の組がスタートしたら競技役員の指示に従い、横（0～4の泳者は0レーンへ、5～9レーンの泳者は9レーンへ）移動してください。競技役員から指示があった場合は、その指示に従ってください。
- (2) 25m種目はゴールタッチ後、すぐに次の組がスタートします。タッチ板に触れることのないように速やかに退水してください。
- (3) リレー種目は8レーンで競技を行うため0レーンと9レーンは使用しません。泳ぎ終わった方は、0レーンまたは9レーンで次組の競技が終わるまで待機いただいても構いません。

10. リレー種目

- (1) リレーオーダーを変更する場合（締切時間内に1回のみ）は、「リレーオーダー変更届」を提出してください。
 - ※ 種目、年齢区分の変更はできません。
 - ※ 同一リレー種目には、年齢区分別にかかわらず1人1回しか出場できません。
 - ※ オーダー変更締め切り後の泳者および泳者順序の変更は認められません。
- (2) 「リレーオーダー変更用紙」「棄権申し出用紙」はリゾリューションにあります。
 - ※棄権者はチームでまとめて「棄権申し出用紙」に記入のうえ、リゾリューションに提出してください。
- (3) 招集席へは、「ADカード」を持参のうえ、4名揃って集合してください。4名揃っていないと招集を受けることはできません。
- (4) リレーの第2泳者以降で水中からのスタートを希望するチームは、リゾリューションにて指定の申告用紙で申告または招集所で役員へ申し出てください。申告がなく水中からスタートした場合は、記録を公認できない場合があります。
 - ※ 第2泳者以降が水中からスタートを行うことを認めているのは、国内ルールです。世界記録の突破を目指しているチームの第2泳者以降は、台上またはプールデッキからスタートを行ってください。
- (5) リレーオーダー変更受付締切については以下の通りとします。

プログラム No. 1	混合	4×50mドレーラー	9:00	締切
プログラム No.12	女子	4×50mドレーラー	11:00	締切
プログラム No.13	男子	4×50mドレーラー	11:00	締切
プログラム No.22	混合	4×50mフリー	13:00	締切
プログラム No.33	女子	4×50mフリー	15:00	締切
プログラム No.34	男子	4×50mフリー	15:00	締切

11. 表彰／記録

(1)「参加賞」

出場選手全員に参加賞を授与します。1階正面玄関受付にてチーム受付時、ADカードと参加人数分の参加賞を確認ください。

(2)「賞状」

各個人種目1～8位およびリレー種目の上位3位までに入賞された方は賞状を授与します。

入賞された方は、1階正面玄関受付にてADカード提示のうえお受け取りください。

賞状の受け渡し時間は、その日の競技終了20分後までとします。

(3)「世界新記録」「日本新記録」

世界水泳連盟 WORLD AQUATICS 認定のマスターズ水泳世界記録を突破した選手およびリレーチームには「世界新記録証」を授与します。

マスターズ水泳日本記録を突破した選手およびリレーチームには「日本新記録証」を授与します。

「日本新記録証」「世界新記録証」の表彰について、プログラム No.1～No.17で達成の方は、プログラム No.17終了後、プログラム No.18以降で達成の方は、プログラム No.34 終了後に表彰を行います。

副賞として近江牛を「世界新記録」は1万円相当、「日本新記録」は5千円相当を進呈いたします。

(4)「大会新記録賞」

今大会の大会記録に対しての大会記録突破（タイ記録、同タイムは対象外）については、「大会新記録賞」を進呈いたします。

1階正面玄関受付にてADカード提示のうえお受け取りください。

(5)「ピタリ賞」

2026年度日本マスターズ水泳短水路大会滋賀（草津）会場のエントリータイムと同タイムで泳がれた種目には「ピタリ賞」を進呈いたします。

<申込手順>

- ① 事前申込みの必要はありません。
- ② 各自レース終了後、エントリータイム（プログラム記載分）と同じ記録が正式に達成されたら、1階正面玄関受付にて賞品お受け取りの手続きをおこなってください。
*記録が失格等で達成されていない場合は対象外です。
- ③ 「ピタリ賞」は、今回「国産牛ローストビーフ（3,000円相当）」をご指定先へ配送する予定です。該当の方は受付にて宅配便伝票の記入をお願いいたします。
- ④ 受付は、大会撤収までとします。大会撤収後の電話やメール等での申請は、お受けできません。
受付は、必ず大会撤収までに自署で申請をお願いします。

(6)「世界新記録」「日本新記録」「大会新記録賞」「ピタリ賞」をリレー種目で達成された場合は、それぞれ達成の人数分進呈いたします。

- (7) 大会会場でお渡しする参加賞・賞状・副賞は、後日の郵送等はいりません。当日必ずお受け取りください。
- (8) 各種目の男女すべての組の競技終了後、1 時間後目処にその種目の男女別、年齢区分別のランキングを Web および公式掲示板に提示します。

12. 申告が必要な方

大会参加にあたって、以下の項目に該当する方は出場種目開始予定時間 1 時間前までにリゾリューションへ申告を行ってください。

「出場申告用紙」が必要な申告

- テープ等をされる方
 - ※ 怪我によって必要な場合、審判長の許可があれば 1 本または 2 本の手の指、足の指へのテープが認められます。必要な場合は必ず申告してください。その他のテープ等は、競技規則上認められません。やむを得ず使用の承認が必要な場合は使用状況を確認します。実際に泳ぐ際のテーピングを施した状態でリゾリューションデスクへお越しください。(指や関節を固定するテーピング、筋肉を補強するテープ等は基本的に許可できません)
- 障がいの認定を受けている方で競技規則違反になる可能性のある方
 - ※ 申告内容を確認し、許可の判断を行います。なお、診断書や障がい者手帳の提示を求める場合があります。
- 出場に介助が必要な方
 - ※ チームから介助者を帯同してください。その際、介助者は招集席からスタート席まで付くことはできますが、スタートの介助はできません(台上に上がる際に補助をすること、一緒に水中に入ることは不可)。ゴール後は競技役員の指示を優先し介助してください。
- リレーの第 2 泳者以降が水中からスタートするチーム

「世界記録申請用紙」が必要な方

- 世界記録に挑戦する方およびチーム
 - 世界記録の突破が予想される選手およびチームは、出場するレースの 1 時間前までに規定用紙に必要事項を記入のうえ、リゾリューションに必ず申告してください。また、レース中の挑戦コールを希望する方のみ申請をお願いします。世界記録に近い方であっても、本人が挑戦コールを望まない場合は申請は不要です。
 - ※ リレーの第 1 泳者として挑戦する方も必ず申告してください。

<世界記録の申請および日本記録・世界記録該当者の着用水着について>

世界記録、また日本記録を樹立された場合、泳者の生年月日を証明するものが必要となるので準備してください。「世界記録：パスポート、住民票（3ヶ月以内のもの）のコピー、日本記録：パスポート、住民票（3ヶ月以内のもの）、免許証、マイナンバーカードのいずれかコピー」

世界記録および日本記録の突破者は、着用していた水着の確認（WORLD AQUATICS マーク）の確認をさせていただきます。

WORLD AQUATICS 承認水着を着用していない選手の記録は新記録としては認められません。

水着の詳細は、日本マスターズ水泳協会ホームページをご確認ください。

<異議申し立てについて>

異議申し立ては、チームの責任者が行ってください。選手本人からの申し立ては受け付けられません。

競技開始前にわかった事柄についてはその競技の出発合図の前までに、競技の失格内容や状況等に異議のあるときはそのランキング発表後 30 分以内に抗議書に内容を記入し、抗議料 50,000 円を添えてリゾリューションにご提出ください。抗議書の内容を審判長ならびに大会総務で裁定します。抗議内容が承認された場合は抗議料を返金しますが、棄却された場合は返金しません。なお、チーム等により撮影された映像等は審議の資料として採用できかねます。その他、違反内容の問合せについては選手本人からでも可能です。指定用紙に記入のうえ、リゾリューションにお申し出ください。

1 3. 施設使用上の注意

※会場利用には、「会場案内図」を参照してください。

<駐車場の注意>

☆参加選手・競技役員・観覧者等へ

駐車スペースに限りがあります。できるだけ公共交通機関をご利用ください。

- (1) 滋賀県水泳連盟から依頼の競技役員は、当日駐車許可証を受取り、車外から見える場所に置き、指定の駐車スペースの停めてください。
- (2) チームから派遣（帯同）役員への駐車許可証は、発券しません。有料駐車場をご利用ください。
- (3) 選手、監督ならびに観覧者が大会施設有料駐車場を利用しても、施設利用の割引対応は受けることはできません。
- (4) 近隣施設の駐車場（有料駐車場は除く）に駐車は絶対にやめてください。問題が発生した場合は、該当者同志で対応をお願いします。大会運営関係者は、一切の責任を負えません。
- (5) 施設、施設有料駐車場から出た場合は、南（土手）側へ進行ください。北（平和堂）側への進行は近隣住人のご迷惑となります。絶対に進行しないでください。

<開場時の注意> ☆選手・監督・観覧者の入場出入口は、終日 2 階となります。

- (1) 前日から入場口に並ぶことはできません。当日の朝 7 時以降にお並びください。
- (2) AD カードのお渡しは、1 階正面入口受付にて 7 時 20 分よりおこないます。
- (3) 選手の入退場は、2 階入口より行います。（1 階入口からはご入場出来ません）開場時チーム関係者が場所取りのために会場内を走るのは大変危険です。思わぬ転倒事故につながる恐れがありますので、絶対におやめください。
- (4) 開門時の入場口について、メインスタンドを使用される方は西（グラウンド）側入口、サブスタンドを使用される方は東（テラス）側からの入場になります。
- (5) 入場順について（それぞれの入口共通）、AD カードをお持ちの関係者は 8 時 10 分、それ以外の方は 8 時 30 分から入館いただけます。
- (6) 待機列は、先着順とします。
チーム代表者等の順番に横入りすることのないようお願いします。トラブルの発生については、対応いたしかねます。
- (7) 9 時以降の 2 階メインスタンド入退場口は、変更する場合があります。
- (8) 本会場では、応援者・付添者・観覧者のご入場はできますが、AD カードがない方のプールサイドへ立ち入りはできません。
※付添が必要な場合は事前にお申し付け下さい。

<観覧席の注意>

- (1) 1名ないし2名で参加の方優先席をメインスタンド飛込台側下段に設定しています。
- (2) 両スタンドともイス席に毛布やシートで場所取りをすることは禁止します。
イスの上や横に「チーム名入りの紙等」「小荷物」等を置いている場所は、場所取りと判断します。この場合は、会場係が撤去する場合がありますのでご了承ください。ポールによるのぼり旗（チーム旗）は、禁止とします。
会場内では、競技役員の指示に従ってください。
- (3) シート、毛布等は次の場所にて使用を許可します。ただし、選手等の通路としての妨げにならないようお願いします。妨げになる場合は、撤去する場合があります。
 - ・メインスタンド：観客席最下部同じく最上部、電光掲示板下観覧席用通路奥
 - ・サブスタンド：観覧席最下部、エントランス（通路部は禁止）
 - ・木製エントランス：全面（通路は禁止）

<更衣室の注意>

- (1) 更衣は必ず更衣室で行ってください。また、プールサイド・更衣室以外を水着で通行すること
もご遠慮ください。
- (2) 更衣室は50Mプール用更衣室の利用が原則となります。
- (3) 更衣室のロッカーは、数に限りがあるため、使用禁止とします。更衣後の荷物等は各自で管理をお願い
します。
- (4) 開門から10時までサブプール用の更衣室を開放します。ただし、ロッカー使用と荷物等置くことは
禁止いたします。
- (5) 個人で管理のできない貴重品に関しては1階正面入口受付またはプールサイドのリゾリユーションデ
スクにて「物品 預かり証」をご記入いただき、所定の手続きをさせていただいたうえで預かりし
ます。
盗難等については一切責任を負えません。最近特に、各競技場における盗難事故が多発しており
ますのでご注意ください。
- (6) プールサイド、更衣室は、履物厳禁です。また、プールサイドでの水分補給はできますが、食
事はできませんので選手控室または選手休憩スペースをご利用ください。
- (7) 館内の通路はぬれると滑りやすくなります。十分注意してください。

<その他>

- (1) マスターズスイマーとして、マナーを守り館内をきれいに利用しましょう。
ごみ等は、各自で持ち帰ってください。
- (2) 以下のことは禁止します。
 - 火気の使用
 - 喫煙（敷地内は禁煙です）
 - 施設内、敷地内でのテーブル類、くぎ、画びょう等の使用
 - ピン類、カン類、アルコール類およびチューインガム等の会場内への持ち込み
 - 会場内電源を使用しての電気機器の充電その他、参加者や施設等に迷惑がかかる行為は絶対にしないでください。

14.健康管理

- (1) 大会中の健康管理は本人の責任とし、ご自分の体調には十分留意してください。
- (2) 会場内で、ケガや体調が悪くなった場合は、医務室にて応急処置は行いますが、その後の処置は参加者側で行ってください。
医療従事者はプールサイド本部席横または、メインスタンド1階医務室に9:00~全競技終了後まで待機しています。
- (3) 当日、ご自分の体調に不安を感じたら棄権してください。また、仲間の方も棄権を勧めてください。特にリレー種目では1人の選手が体調不良の場合、仲間が棄権を勧めることが大切です。
- (4) 各チームは所属する参加者について次のことを確かめてください。
 - ・ 医師の健康診断または自己申告に基づいて健康に異常がないこと。
 - ・ 競技会当日より前1ヶ月間、週1回以上の水泳練習を行っていること。
 - ・ 「マスターズ水泳キーワード9」をよく理解し、参加すること。
- (5) 大会期間中、大会医務委員により出場停止の勧告がされた場合は、その指示に従ってください。

15.その他

- (1) 今大会はYouTube配信を行います。下記のリンク先より視聴ください。
なお、システムの状態・会場の通信環境により映像の乱れや遅れが発生する場合があります。
また予告なく中止する場合がありますのでご承知おきください。

配信リンクならびに二次元コードは4月6日(月)に(一社)滋賀県水泳連盟ホームページにアップいたします。
- (2) 大会期間中は忘れ物のないように注意してください。忘れ物は、1階正面玄関内の受付にて保管しておりますが、大会終了後1週間で廃棄処分します。
- (3) お申し込み時に申告された大会緊急時の連絡先については、事故・怪我の発生など万が一の際に使用します。これらの目的以外で使用することはありません。チーム責任者の方も下記のとおり、準備をお願いします。
 - ① 責任者が会場へ同行される場合：出場者全員の緊急時の連絡先を把握し持参してください。
 - ② 責任者が会場へ同行されない場合：大会当日、緊急時に選手のご家族等に急を要する連絡が取れるよう準備してください。※緊急時の連絡先とは、選手のご家族等に急を要する連絡の取れる電話番号です。
- (4) 私的営業活動の禁止
大会会場内にて、主催者の許可なく営利活動や販促物の配布、集客活動等を行うことは禁止します。
- (5) 不可抗力による中止の際の対応
大会当日、社会情勢ならびに天変地異の不可抗力により中止になった場合は、「参加賞」「プログラム(申し込み分)」はチームへお渡ししますが、エントリー料は返金できません。

(6) 個人情報ならびに肖像の取り扱いについて

本大会にあたり取得した個人情報ならびに肖像の取り扱いについては以下のとおりです。

① 個人情報

- ・ プログラム、ランキング作成を含む競技会運営に使用します。
- ・ 競技結果としてホームページ、マスターズニュース等の媒体に掲載します。

② 肖像

- ・ 大会報告としてホームページ、マスターズニュース等の媒体に使用します。
- ・ 以降マスターズ水泳普及活動のために使用します。
- ・ 大会主催者が定めた撮影者によって撮影されたすべての映像は主催団体・主管団体に帰属します。

(7) 会場内での撮影について

競技会において、参加選手または関係者等が私的に撮影した動画や画像をY o u T u b e等のWEBサイトやその他の公な場所に公開するためには、必ず各権利者の許諾を公開者が受けるようお願いします。また、会場BGMをそのまま使用すると著作権の侵害となりますので注意してください。

また、観覧席および選手控室での撮影は自由としますが、競技役員より指示を受けた場合や撮影した映像の提出を求められた場合はその指示に従ってください。更衣室での撮影は禁止とします。不審な人物を確認した場合は、競技役員へお知らせください。